



朝日学生新聞社創業50年 社名ロゴマーク・デザイン募集 採用作を決定しました

朝日学生新聞社は、創業50年と「朝日小学生新聞」創刊50年を機に、社名のロゴマーク・デザインを公募しました。110作品の応募の中から、竹田明日香さん（兵庫県）のデザインを採用することに決めました。今後、朝日学生新聞社の発行物などに使用します。



ロゴマークのデザインは2017年2月～3月に、大学・専門学校などに在籍する学生や朝日新聞グループ会社関係者を対象に募集、全国の美術大学・高校の学生や、デザイナーなどから応募がありました。

朝日学生新聞社の担当チーム7人による1次選考で4点に絞った上で、朝日学生新聞社の社員全員（約100人）の投票により、採用作が決まりました。1次選考からすべて、氏名や所属先などの情報は見ずに、ロゴマークのデザインのみで公平に審査を行いました。

竹田明日香さんはフリーのデザイナーで、かつて朝日新聞社でデザインの仕事をしました。ロゴマークは、太陽が新聞を読み、好奇心を刺激されている様子を表しています。子ども向けの新聞や書籍の発行を主な社業とする朝日学生新聞社のイメージにぴったりだという理由で、社員の支持を集めました。

竹田さんには賞金10万円が贈られます。

残念ながら採用にいたらなかった作品も、新聞をうまく配置したもの、子どもがすくすく伸びる様子を表したものなど、社のイメージをとらえていただいたものばかりでした。

【竹田明日香さんのコメント】

子どもが新聞を読んだときに新しい発見をする様子をデザインしました。同時に、地平線から朝日が昇るさまもイメージできるようにしました。文字のデザインはゴシックと丸ゴシックを同居させ、子どもたちの発想をやわらかくし、そして社会を見る真摯でまっすぐなまなざしをもってほしいという、朝日学生新聞社のイメージを表しました。子どもたちが新聞に興味を持つきっかけになってほしいという思いも込めました。